

令和7年度 あいちの血液事業

あなたの**勇気**と
おもいやり



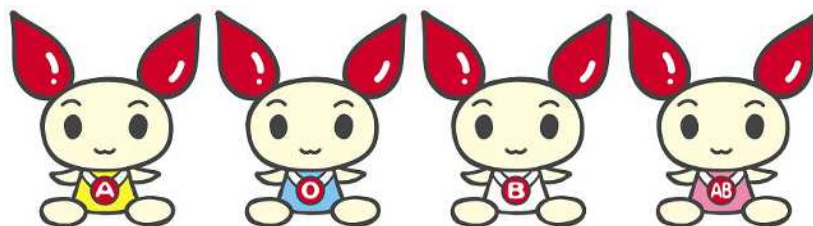




目 次



令和7年度愛知県献血推進計画.....	1
令和6年度市町村別献血状況.....	7
統計資料 献血者数の推移.....	8
年齢別献血者数の推移.....	9
職業別献血者数の推移.....	10
採血不適格者の状況.....	11
骨髄バンクドナー登録状況.....	11
検査不合格の状況.....	12
血液製剤供給の推移.....	13
令和6年度血液事業概要.....	14
骨髄バンク事業.....	17



令和7年度愛知県献血推進計画

本推進計画は、安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律（昭和31年法律第160号。以下「法」という。）第9条により定める基本方針及び法第10条により定める献血推進計画に基づき、本県における令和7年度の献血の推進に関する計画について、愛知県献血推進協議会（以下「献血推進協議会」という。）の意見を踏まえて定めたものである。

なお、献血推進協議会に関する事項については、別に定める。

第1 基本的な考え方

- 1 県、市町村、愛知県赤十字血液センター（以下「血液センター」という。）、地区献血推進協議会及び献血推進組織等は、協力して、相互扶助に基づく献血の必要性について県民の理解を求め、献血推進運動を展開する。
- 2 今後の人口動態を考慮すると、献血可能人口が減少すると推定されていることから、特に若年層の献血への理解を深めるため普及啓発を実施する。

第2 関係者の役割

- 1 県は、県民の献血への理解を深め、広報や献血組織の育成等により、献血を推進していくために必要な施策を実施するとともに、血液センターの献血受入計画の実施を確保するための協力を行う。
- 2 市町村は、国及び県と協力して、県民の献血への理解を深めるため普及啓発等を実施するとともに、血液センターの献血受入計画の実施を確保するため、献血会場の確保等の協力を行う。
- 3 血液センターは、国、県及び市町村が行う献血推進の取組に積極的に協力するとともに、県と協議のうえ献血受入計画を作成し、献血受入体制を着実に整備し、献血目標量を確保するための措置を講ずる。また、献血者の安全に配慮するとともに、献血者に心の充足感をもたらし、継続して献血に協力できる環境の整備を行う。
- 4 県及び市町村は、若年層の献血への理解を深めるため、学校に対しても積極的に協力を呼びかける。
- 5 企業等は、献血を休暇措置の対象とする等、進んで献血しやすい環境作りに取り組む。

第3 献血目標量の設定

県は、国が示した献血目標量に基づき血液センターと協議のうえ、献血目標量及び献血目標者数を種別（200mL、400mL、成分献血（血漿、血小板））に設定する。

令和7年度の献血目標量及び献血目標者数は以下のとおりとする。なお、市町村別献血目標は別に示す。

種別目標数

		献血目標者数（人）	献血目標量（単位）	血液量（L）	原料血漿量（L）
全血献血	200mL 献血	5,063	5,063	1,013	480
	400mL 献血	180,685	361,370	72,274	33,289
	小 計	185,748	366,433	73,287	33,769
成分献血	血漿成分献血	72,334	361,670	41,620	30,222
	血小板成分献血	32,579	325,790	17,405	7,036
	小 計	104,913	687,460	59,025	37,258
合 計		290,661	1,053,893	132,312	71,027

* 献血目標量の単位は、200mL 献血を1単位、400mL 献血を2単位、血漿成分献血を5単位、血小板成分献血を10単位とする。

* 血液量の換算は、200mL=0.2L、400mL=0.4L、血漿成分献血（輸血用）=0.48L、血小板成分献血=0.4Lとする。ただし、血漿成分献血及び血小板成分献血は原料血漿用を含む、分割製造用を含む等の理由により、表の血液量と換算値は合致しない。

第4 献血目標量を確保するために必要な措置

1 献血に関する普及啓発及び広報活動の実施

県は、国、市町村及び血液センターの協力を得て、輸血用血液製剤及び血漿分画製剤（以下「血液製剤」という。）の安定供給を確保し、その国内自給を推進する。そのため、献血や血液製剤について県民に正確な情報を伝え、その理解と献血への協力を求める事業を次のとおり展開する。

（１）若年層、幼少期への普及啓発

ア 高校生、大学生等の献血可能な若い世代を対象としたリーフレット及び啓発資材を作成し、二十歳の集いや学校等を通じて配布する。また、次世代の献血者を育てていくために、小学生の親子を対象として血液教室を開催し、親子が献血に触れ合う機会を設ける。

イ 愛知県学生献血連盟等、若年層の献血ボランティア団体の活動を支援することにより、大学等における献血運動を推進する。

ウ SNSを含むインターネット等を主体とした情報発信により、気軽に目に触れる機会を増やすとともに、献血の行動へと繋げるため、国が作成した献血推進キャラクター「けんけつちゃん」を活用し、報道機関及び各関係機関の協力を得て、実効性のある効果的な広報活動を展開する。

エ 関係機関の協力を得ながら血液センターの活動を支援することにより、高校生を対象とした献血に関する知識の普及を図る。

オ 血液センターは、「献血セミナー」を開催するとともに、血液センター等での体験学習の機会を積極的に設ける。また、「献血セミナー」等をきっかけとして献血に関心を持った献血未経験者等に献血 WEB 会員サービス「ラブラッド」への登録を働きかける。

カ 県及び市町村は、血液センターが実施する「献血セミナー」や血液センター等での体験学習の機会を学校等において積極的に活用してもらえるよう情報提供を行う。

（２）企業等における献血の推進

ア 移動採血による献血で大きな割合を占める企業等における献血を推進するため、職域の実情に即した方法により企業等における献血組織の育成を促進する。

イ 血液センターは、企業等に対して「献血セミナー」を実施し、正しい知識の普及啓発等を図る。

ウ 血液センターは、企業等における献血に際し、特に若年層労働者の献血促進について協力を求める。

（３）複数回献血の推進

献血者が減少する時期などにおいても血液製剤の安定供給を確保するため、複数回献血が若年層を含む幅広い層に拡大するよう、キャンペーンを実施するとともに、血液センターは平素から献血 Web 会員サービス「ラブラッド」への登録を働きかける等により献血者へのサービスの向上をするなど、複数回献血の推進を図る。

（４）献血推進キャンペーン等の実施

ア 7月の「愛の血液助け合い運動」及び1月から2月までの「はたちの献血キャンペーン」を協力団体の後援のもとに実施する。

イ 啓発資材及びリーフレットを作成し、関係機関等に配布する。また、テレビ、SNSを含むインターネット、ポスター等の各広報媒体を効果的に活用し、献血や血液製剤に関する理解と協力を呼びかける。その際、ポスター等についてはインターネット上の情報にアクセスしやすい工夫をする。

2 献血運動推進大会の開催

県民に献血に対する理解と協力を求め、献血運動を一層推進するために、7月に愛知県献血運動推進大会を開催し、献血運動の推進に積極的に協力し、他の模範となる実績を示した個人又は団体に知事感謝状を贈呈する。

3 地区献血推進協議会の設置及び活用

地区献血推進協議会は、地域における献血推進の中核的役割を果たすことが期待されることから、県及び市町村は、地域の実情に応じて地区献血推進協議会の設置を推進するとともに、その活用を図る。

4 献血推進組織等の育成

- (1) 市町村の担当職員及び献血協力団体等の構成員等を対象とした研修会を開催し、献血に関する知識・意識の向上を図る。
- (2) 県及び市町村は、地域の献血ボランティア団体の組織化及び活動等に対し率先してその支援を行う。

第5 献血の推進に際し、特に配慮すべき事項

- 1 県、市町村及び血液センターは、県民の理解と協力を得ることができるよう、血液事業に係る施策の策定及び実施に当たり、献血の実態、血液製剤の安全性や供給の状況等についての情報を公開する。
- 2 血液センターは、献血者の本人確認及び問診の徹底、H I V等の感染症の検査を目的とした献血を防止するための措置等、献血者の善意の協力を得て、血液製剤の安全性を向上させるための対策を推進する。
- 3 血液センターは、献血者が利用しやすい受入時間の設定等、献血者の利便性に配慮しつつ、献血の受入に当たっては献血申込者に不快の念を与えないよう、丁寧な処遇をすることに特に留意し、献血者の要望を把握するとともに、採血後の休憩スペースの十分な確保等、献血者に安心・安らぎを与える環境作りを図り、献血受入体制の一層の整備及び充実に努める。
また、献血者の個人情報保護するとともに、国の適切な関与の下で献血による健康被害に対する補償のための措置を実施する。
特に初回献血者が抱いている不安等を軽減するため、採血の手順や採血後に十分な休憩をとる必要性、気分が悪くなった場合の対処方法等について、事前説明を十分に行い、献血者の安全確保を図る。
- 4 血液センターは、献血者の利便性に配慮しつつ、安全で安心かつ効率的に採血を行う必要がある。このため、ライフスタイルの多様化に対応するための取組として、立地条件等を考慮した採血所の設置、地域の実情に応じた献血受入時間帯の設定及び移動採血車による計画的採血、企業や団体等の意向を踏まえた集団献血の実施、子育て世代に対応した託児スペースの整備、I C Tを活用したW E B予約の推進等に積極的に取り組む。
- 5 血液センターは、採血に際して献血者の健康管理に資する検査を行い、献血者の希望を確認してその結果を通知する。また、血色素検査により低血色素で献血ができなかった者に対して保健師等による健康相談を実施し、献血者の増加を図る。
- 6 血液センターは、初回献血者や献血に不安がある者に対しては、採血区分（200mL 全血採血、400mL 全血採血又は成分採血）や採血基準を満たしていれば、いずれの採血も安全であることについて十分な説明を行い、献血者の意思を可能な限り尊重した上で、採血区分を決定する。（なお、血液センターが献血者に対し、医療現場において需要の高い 400mL 全血採血及び成分採血への協力を求めることは可能である）。

第6 その他献血の推進に関する重要事項等

1 献血推進施策の進捗状況等の確認・評価

- (1) 県は、献血受入実績について定期的に血液センターに確認し、市町村に情報を提供する。
- (2) 県及び市町村は、献血推進施策の進捗状況についての評価を行い、県は必要に応じて献血推進施策の見直しを行う。

2 輸血用血液製剤の在庫水準の常時把握と不足時の的確な対応

- (1) 県及び血液センターは、赤血球製剤等の在庫水準を常時把握し、在庫が不足する場合又は不足が予測される場合には、供給に支障を来す危険性を勘案し、国の献血推進本部設置要綱（平成17年4月1日決定）及び血液センターが策定した対応マニュアルに基づき所要の対策を講ずる。
- (2) 県は、血液製剤の供給に支障を来さないよう、必要に応じて献血推進対策本部会議を開催し、血液確保対策の推進を図る。

3 災害時等における献血の確保等

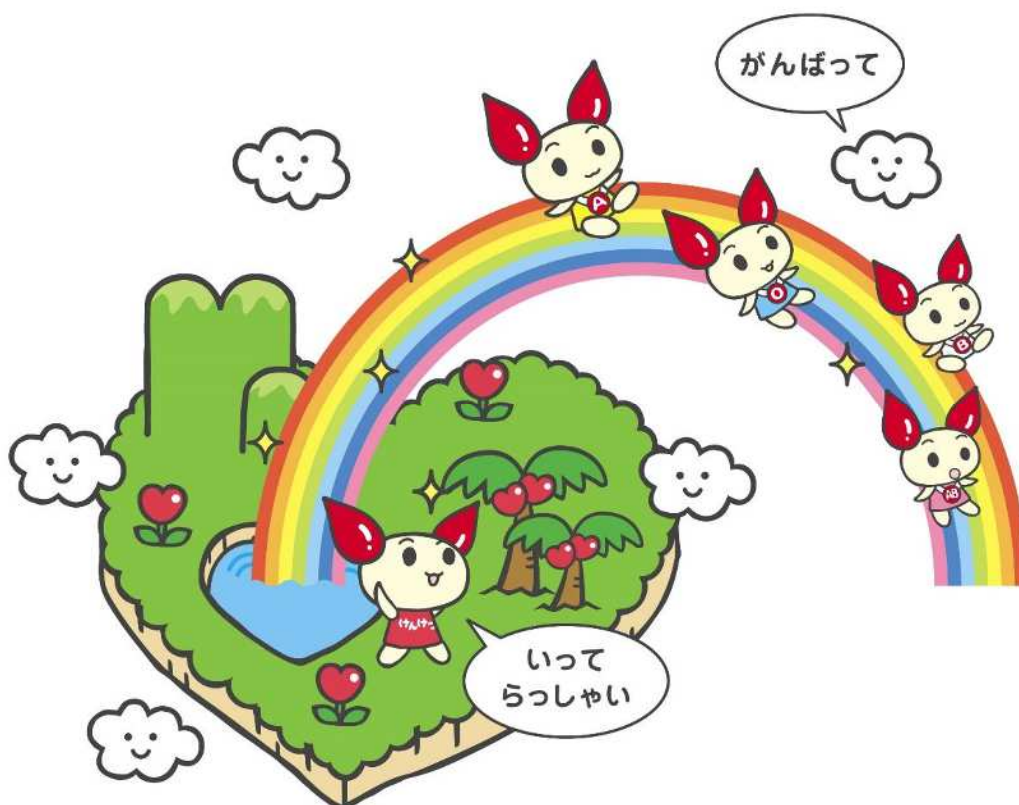
- (1) 県は愛知県地域防災計画に基づき、災害時における血液製剤の確保に必要な対策を講ずる。
- (2) 県及び市町村は、血液センターと連携して災害時等における医療需要に応じた必要な血液が確保されるよう、様々な媒体を活用し、献血への協力を呼びかける。その際、血液センターは、被害状況等の情報収集を行ったうえで、献血の受入れの可否について判断するなど、献血者の安全に十分配慮する。
- (3) 血液センターは、あらかじめ災害時等に備えて、関係者との通信手段の確保、広域的な需要調整の対応を含む事業継続計画を定める。
- (4) 採血事業は、医療体制の維持に不可欠なものであることを踏まえ、血液センターは、新興・再興感染症のまん延下の状況であっても、医療需要に応じた血液製剤の安定供給を図るため、安心・安全な献血環境の保持と献血者への感染防止を十分に行うとともに、献血者へ感染症対策についての情報発信を適切に行う。
- (5) 県及び市町村は、血液センターの取組を支援する。

4 血液製剤の適正使用の推進

県は血液センターの協力のもと、合同輸血療法委員会を開催し、血液製剤の適正使用や輸血療法の実施等に関する指針について医療機関に情報提供を行う。

5 その他

本推進計画に定めるもののほか、県は、献血の推進に関する重要事項について、血液センター、市町村及び関係機関等と協議のうえ、必要に応じて献血推進協議会の意見を踏まえて定めるものとする。



令和7年度市町村別献血目標

	献血目標 (単位)	200mL献血 (人) 1.7%	400mL献血 (人) 62.2%	血漿 成分献血(人) 24.9%	血小板 成分献血(人) 11.2%	献血目標 (人)	(参考) 令和3～令和5年度 配車実績合計(回)
愛知県	1,053,893	5,063	180,685	72,334	32,579	290,661	7,832
移動採血	188,572	2,606	92,983	0	0	95,589	7,832
名古屋市	41,795	573	20,611	-	-	21,184	1,736
豊橋市	11,148	154	5,497	-	-	5,651	463
岡崎市	8,763	121	4,321	-	-	4,442	364
一宮市	8,668	120	4,274	-	-	4,394	360
豊田市	8,956	124	4,416	-	-	4,540	372
県保健所管内	109,242	1,514	53,864	-	-	55,378	4,537
瀬戸保健所	8,527	119	4,204	-	-	4,323	354
瀬戸市	1,734	24	855	-	-	879	72
尾張旭市	1,276	18	629	-	-	647	53
豊明市	651	9	321	-	-	330	27
日進市	2,144	30	1,057	-	-	1,087	89
長久手市	1,517	21	748	-	-	769	63
東郷町	1,205	17	594	-	-	611	50
春日井保健所	11,702	162	5,770	-	-	5,932	486
春日井市	5,080	70	2,505	-	-	2,575	211
小牧市	6,622	92	3,265	-	-	3,357	275
江南保健所	7,224	100	3,562	-	-	3,662	300
犬山市	1,590	22	784	-	-	806	66
江南市	1,661	23	819	-	-	842	69
岩倉市	746	10	368	-	-	378	31
大口町	2,022	28	997	-	-	1,025	84
扶桑町	1,205	17	594	-	-	611	50
清須保健所	9,944	138	4,903	-	-	5,041	413
稲沢市	5,056	70	2,493	-	-	2,563	210
清須市	1,276	18	629	-	-	647	53
北名古屋市	722	10	356	-	-	366	30
豊山町	2,890	40	1,425	-	-	1,465	120
津島保健所	6,451	89	3,181	-	-	3,270	268
津島市	1,227	17	605	-	-	622	51
愛西市	890	12	439	-	-	451	37
弥富市	1,854	26	914	-	-	940	77
あま市	578	8	285	-	-	293	24
大治町	602	8	297	-	-	305	25
蟹江町	819	11	404	-	-	415	34
飛島村	481	7	237	-	-	244	20
半田保健所	9,944	138	4,903	-	-	5,041	413
半田市	4,383	61	2,161	-	-	2,222	182
阿久比町	915	13	451	-	-	464	38
東浦町	2,600	36	1,282	-	-	1,318	108
南知多町	337	5	166	-	-	171	14
美浜町	819	11	404	-	-	415	34
武豊町	890	12	439	-	-	451	37
知多保健所	14,807	205	7,301	-	-	7,506	615
常滑市	3,876	54	1,911	-	-	1,965	161
東海市	3,490	48	1,721	-	-	1,769	145
大府市	5,731	79	2,826	-	-	2,905	238
知多市	1,710	24	843	-	-	867	71

	献血目標 (単位)	200mL献血 (人) 1.7%	400mL献血 (人) 62.2%	血漿 成分献血(人) 24.9%	血小板 成分献血(人) 11.2%	献血目標 (人)	(参考) 令和3～令和5年度 配車実績合計(回)
衣浦東部保健所	17,170	238	8,466	—	—	8,704	713
碧南市	1,156	16	570	—	—	586	48
刈谷市	3,083	43	1,520	—	—	1,563	128
安城市	6,117	85	3,016	—	—	3,101	254
知立市	1,205	17	594	—	—	611	50
高浜市	963	13	475	—	—	488	40
みよし市	4,646	64	2,291	—	—	2,355	193
西尾保健所	5,971	83	2,944	—	—	3,027	248
西尾市	4,551	63	2,244	—	—	2,307	189
幸田町	1,420	20	700	—	—	720	59
新城保健所	2,912	40	1,436	—	—	1,476	121
新城市	2,407	33	1,187	—	—	1,220	100
設楽町	241	3	119	—	—	122	10
東栄町	144	2	71	—	—	73	6
豊根村	120	2	59	—	—	61	5
豊川保健所	14,590	202	7,194	—	—	7,396	606
豊川市	9,919	137	4,891	—	—	5,028	412
蒲郡市	2,793	39	1,377	—	—	1,416	116
田原市	1,878	26	926	—	—	952	78
固定施設	865,321	2,457	87,702	72,334	32,579	195,072	—

* 献血目標の単位は、200mL献血を1単位、400mL献血を2単位、血漿成分献血を5単位、血小板成分献血を10単位として計算している。

* 200mL及び400mL献血については、過去3か年（R1～R3年度）の市町村別配車実績を元に市町村別献血目標を算出した。

* 成分献血については、原則として献血ルーム・血液センターで採血することとし、市町村別献血目標の対象としない。

令和6年度市町村別献血状況

	献血目標						目標単位達成状況		献血実績					
	献血目標量 (単位)	200mL献血 2.3%	400mL献血 (人) 60.9%	血漿 成分献血(人) 24.9%	血小板 成分献血(人) 11.9%	献血目標者数 (人)	献血実績 (単位)	達成率 (%)	受付 (人)	200mL献血 (人)	400mL献血 (人)	血漿 成分献血(人)	血小板 成分献血(人)	献血実績 (人)
愛知県	1,053,120	6,610	174,730	71,370	34,020	286,730	1,080,185	102.6%	320,325	7,708	173,541	74,373	35,353	290,975
移動採血	178,761	3,319	87,721	0	0	91,040	179,419	100.4%	103,366	3,713	87,853	0	0	91,566
名古屋市	44,249	819	21,715	-	-	22,534	39,419	89.1%	23,515	811	19,304	-	-	20,115
豊橋市	9,904	184	4,860	-	-	5,044	7,982	80.6%	4,668	488	3,747	-	-	4,235
岡崎市	8,045	149	3,948	-	-	4,097	6,489	80.7%	3,756	327	3,081	-	-	3,408
一宮市	7,564	140	3,712	-	-	3,852	10,715	141.7%	6,074	109	5,303	-	-	5,412
豊田市	7,954	148	3,903	-	-	4,051	9,379	117.9%	5,355	135	4,622	-	-	4,757
県保健所管内	101,045	1,879	49,583	-	-	51,462	105,435	104.3%	59,998	1,843	51,796	-	-	53,639
瀬戸保健所	8,710	162	4,274	-	-	4,436	7,394	84.9%	4,362	224	3,585	-	-	3,809
瀬戸市	2,040	38	1,001	-	-	1,039	1,139	55.8%	668	29	555	-	-	584
尾張旭市	1,306	24	641	-	-	665	1,250	95.7%	700	26	612	-	-	638
豊明市	459	9	225	-	-	234	883	192.4%	538	29	427	-	-	456
日進市	1,926	36	945	-	-	981	1,668	86.6%	972	50	809	-	-	859
長久手市	1,856	34	911	-	-	945	1,820	98.1%	1,123	82	869	-	-	951
東郷町	1,123	21	551	-	-	572	634	56.5%	361	8	313	-	-	321
春日井保健所	10,660	198	5,231	-	-	5,429	12,604	118.2%	7,189	170	6,217	-	-	6,387
春日井市	4,379	81	2,149	-	-	2,230	5,094	116.3%	2,962	92	2,501	-	-	2,593
小牧市	6,281	117	3,082	-	-	3,199	7,510	119.6%	4,227	78	3,716	-	-	3,794
江南保健所	6,739	125	3,307	-	-	3,432	7,308	108.4%	4,165	92	3,608	-	-	3,700
大山市	1,306	24	641	-	-	665	1,599	122.4%	952	29	785	-	-	814
江南市	1,581	29	776	-	-	805	1,611	101.9%	887	5	803	-	-	808
岩倉市	734	14	360	-	-	374	806	109.8%	454	6	400	-	-	406
大口町	2,087	39	1,024	-	-	1,063	1,799	86.2%	1,018	31	884	-	-	915
扶桑町	1,031	19	506	-	-	525	1,493	144.8%	854	21	736	-	-	757
清須保健所	9,560	178	4,691	-	-	4,869	10,536	110.2%	5,970	102	5,217	-	-	5,319
稲沢市	4,930	92	2,419	-	-	2,511	5,467	110.9%	3,052	41	2,713	-	-	2,754
清須市	1,170	22	574	-	-	596	1,081	92.4%	603	23	529	-	-	552
北名古屋	595	11	292	-	-	303	542	91.1%	305	8	267	-	-	275
豊山町	2,865	53	1,406	-	-	1,459	3,446	120.3%	2,010	30	1,708	-	-	1,738
津島保健所	6,234	116	3,059	-	-	3,175	5,785	92.8%	3,294	59	2,863	-	-	2,922
津島市	1,215	23	596	-	-	619	993	81.7%	569	9	492	-	-	501
愛西市	962	18	472	-	-	490	629	65.4%	352	3	313	-	-	316
弥富市	1,673	31	821	-	-	852	1,983	118.5%	1,122	21	981	-	-	1,002
あま市	619	11	304	-	-	315	697	112.6%	390	13	342	-	-	355
大治町	528	10	259	-	-	269	542	102.7%	321	10	266	-	-	276
蟹江町	756	14	371	-	-	385	694	91.8%	402	2	346	-	-	348
飛島村	481	9	236	-	-	245	247	51.4%	138	1	123	-	-	124
半田保健所	8,710	162	4,274	-	-	4,436	10,367	119.0%	5,848	69	5,149	-	-	5,218
半田市	3,646	68	1,789	-	-	1,857	4,632	127.0%	2,634	36	2,298	-	-	2,334
阿久比町	778	14	382	-	-	396	1,008	129.6%	534	4	502	-	-	506
東浦町	2,476	46	1,215	-	-	1,261	2,805	113.3%	1,587	9	1,398	-	-	1,407
南知多町	298	6	146	-	-	152	336	112.8%	188	0	168	-	-	168
美浜町	687	13	337	-	-	350	730	106.3%	423	8	361	-	-	369
武豊町	825	15	405	-	-	420	856	103.8%	482	12	422	-	-	434
知多保健所	13,548	252	6,648	-	-	6,900	14,042	103.6%	7,944	180	6,931	-	-	7,111
常滑市	3,691	69	1,811	-	-	1,880	3,760	101.9%	2,133	20	1,870	-	-	1,890
東海市	2,957	55	1,451	-	-	1,506	3,620	122.4%	2,003	58	1,781	-	-	1,839
大府市	5,480	102	2,689	-	-	2,791	4,769	87.0%	2,727	69	2,350	-	-	2,419
知多市	1,420	26	697	-	-	723	1,893	133.3%	1,081	33	930	-	-	963
衣浦東部保健所	14,648	272	7,188	-	-	7,460	17,058	116.5%	9,678	226	8,416	-	-	8,642
碧南市	803	15	394	-	-	409	1,866	232.4%	1,081	28	919	-	-	947
刈谷市	2,568	48	1,260	-	-	1,308	3,561	138.7%	2,052	63	1,749	-	-	1,812
安城市	5,180	96	2,542	-	-	2,638	5,469	105.6%	3,118	77	2,696	-	-	2,773
知立市	939	17	461	-	-	478	1,193	127.1%	673	17	588	-	-	605
高浜市	870	16	427	-	-	443	915	105.2%	510	17	449	-	-	466
みよし市	4,288	80	2,104	-	-	2,184	4,054	94.5%	2,244	24	2,015	-	-	2,039
西尾保健所	5,272	98	2,587	-	-	2,685	6,259	118.7%	3,539	177	3,041	-	-	3,218
西尾市	3,988	74	1,957	-	-	2,031	5,096	127.8%	2,873	136	2,480	-	-	2,616
幸田町	1,284	24	630	-	-	654	1,163	90.6%	666	41	561	-	-	602
新城保健所	2,841	53	1,394	-	-	1,447	1,854	65.3%	1,041	78	888	-	-	966
新城市	2,315	43	1,136	-	-	1,179	1,606	69.4%	903	62	772	-	-	834
設楽町	275	5	135	-	-	140	144	52.4%	78	8	68	-	-	76
東栄町	137	3	67	-	-	70	58	42.3%	33	2	28	-	-	30
豊根村	114	2	56	-	-	58	46	40.4%	27	6	20	-	-	26
豊川保健所	14,123	263	6,930	-	-	7,193	12,228	86.6%	6,968	466	5,881	-	-	6,347
豊川市	9,857	183	4,837	-	-	5,020	8,493	86.2%	4,830	333	4,080	-	-	4,413
蒲郡市	2,454	46	1,204	-	-	1,250	2,377	96.9%	1,376	97	1,140	-	-	1,237
田原市	1,812	34	889	-	-	923	1,358	74.9%	762	36	661	-	-	697
固定施設	874,359	3,291	87,009	71,370	34,020	195,690	900,766	103.0%	216,959	3,995	85,688	74,373	35,353	199,409

* 固定施設：愛知県赤十字血液センター、愛知県赤十字血液センター豊橋事業所、タワーズ20、ゲートタワー26、栄、大須万松寺、豊田、岡崎献血ルーム

* 献血目標の単位は、200mL献血を1単位、400mL献血を2単位、血漿成分献血を5単位、血小板成分献血を10単位として計算している。

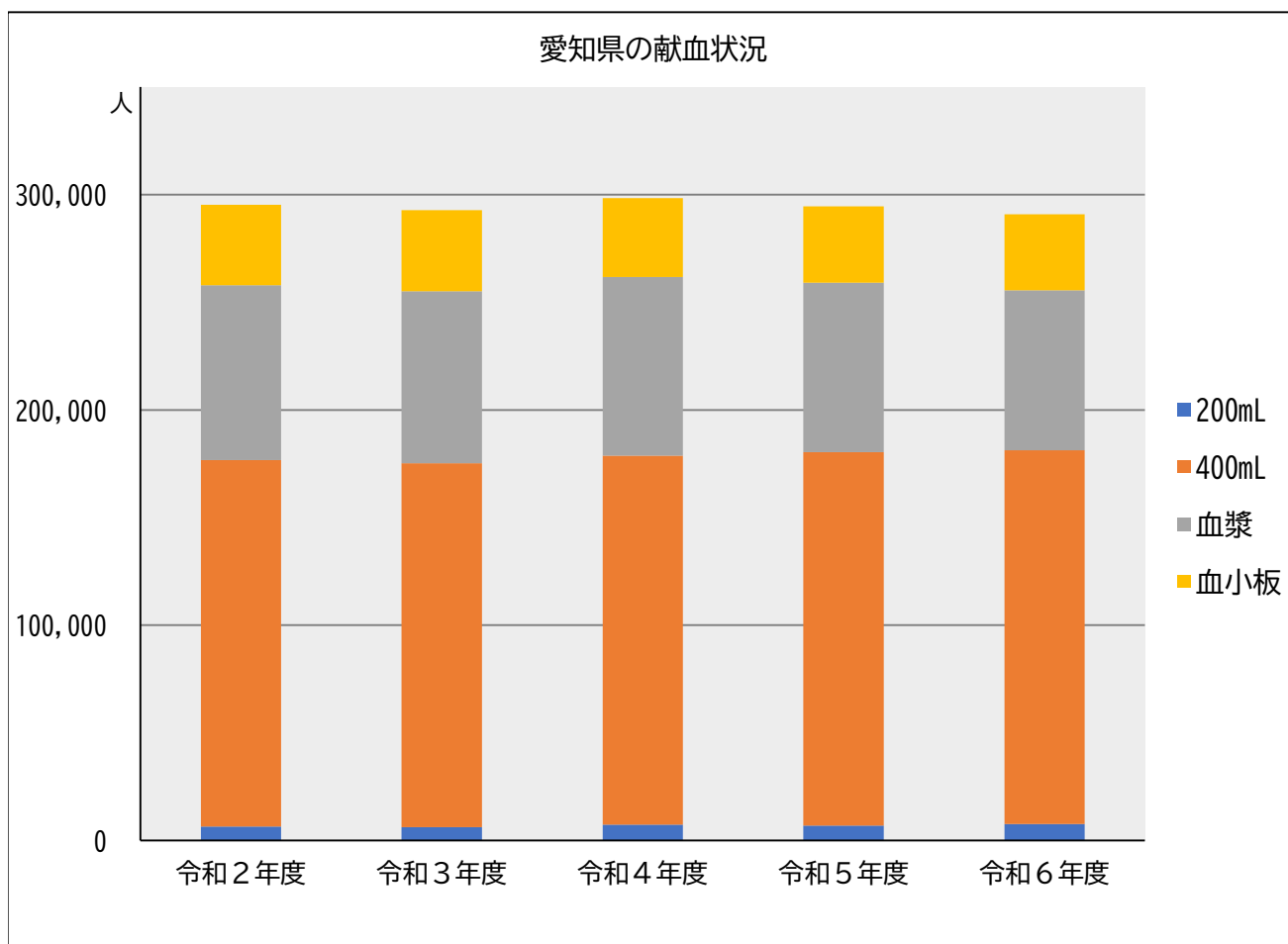
* 成分献血については、原則として献血ルーム・血液センターで採血することとし、市町村別献血目標の対象としない。

献血者数の推移

		受付け数	献血者数	前年比	全血献血					成分献血			
					200mL	前年比	400mL	前年比	400比	血漿	前年比	血小板	前年比
令和2年度	愛知	328,570	295,251	103.2%	6,511	86.7%	170,152	99.6%	96.3%	81,304	110.3%	37,284	109.3%
	全国	5,618,832	5,037,920	102.3%	123,417	88.0%	3,246,688	99.6%	96.3%	1,119,352	119.2%	548,463	93.6%
令和3年度	愛知	325,414	292,732	99.1%	6,192	95.1%	169,032	99.3%	96.5%	79,981	98.4%	37,527	100.7%
	全国	5,616,185	5,053,198	100.3%	124,247	100.7%	3,282,124	101.1%	96.4%	1,093,315	97.7%	553,512	100.9%
令和4年度	愛知	330,233	298,290	101.9%	7,320	118.2%	171,444	101.4%	95.9%	83,074	103.9%	36,452	97.1%
	全国	5,547,000	5,008,741	99.1%	123,985	99.8%	3,300,701	100.6%	96.4%	1,039,222	95.1%	544,833	98.4%
令和5年度	愛知	325,347	294,482	98.7%	6,966	95.2%	173,369	101.1%	96.1%	78,877	94.9%	35,270	96.8%
	全国	5,541,249	5,009,281	100.0%	126,755	102.2%	3,322,234	100.7%	96.3%	1,014,533	97.6%	545,759	100.2%
令和6年度	愛知	320,325	290,975	98.8%	7,708	110.7%	173,541	100.1%	95.7%	74,373	94.3%	35,353	100.2%
	全国	5,519,675	4,987,309	99.6%	124,671	98.4%	3,311,578	99.7%	96.4%	1,019,605	100.5%	531,455	97.4%

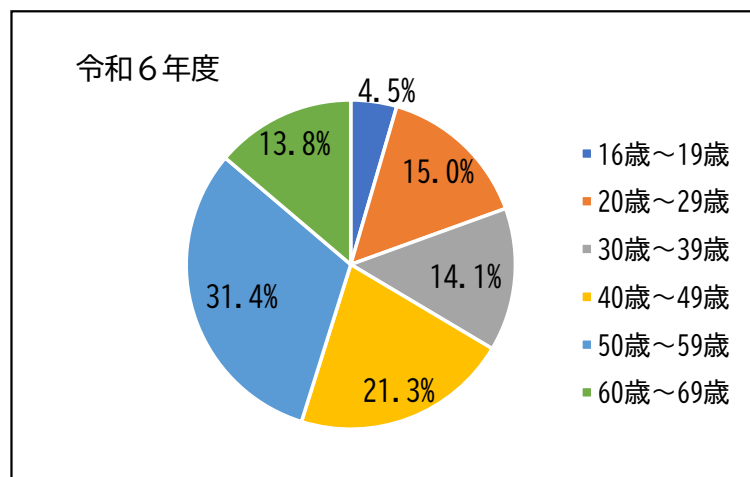
※令和6年度の全国の献血状況は速報値

※「400比」は400mL献血者数の合計（人）／全血献血者数の合計（人）。

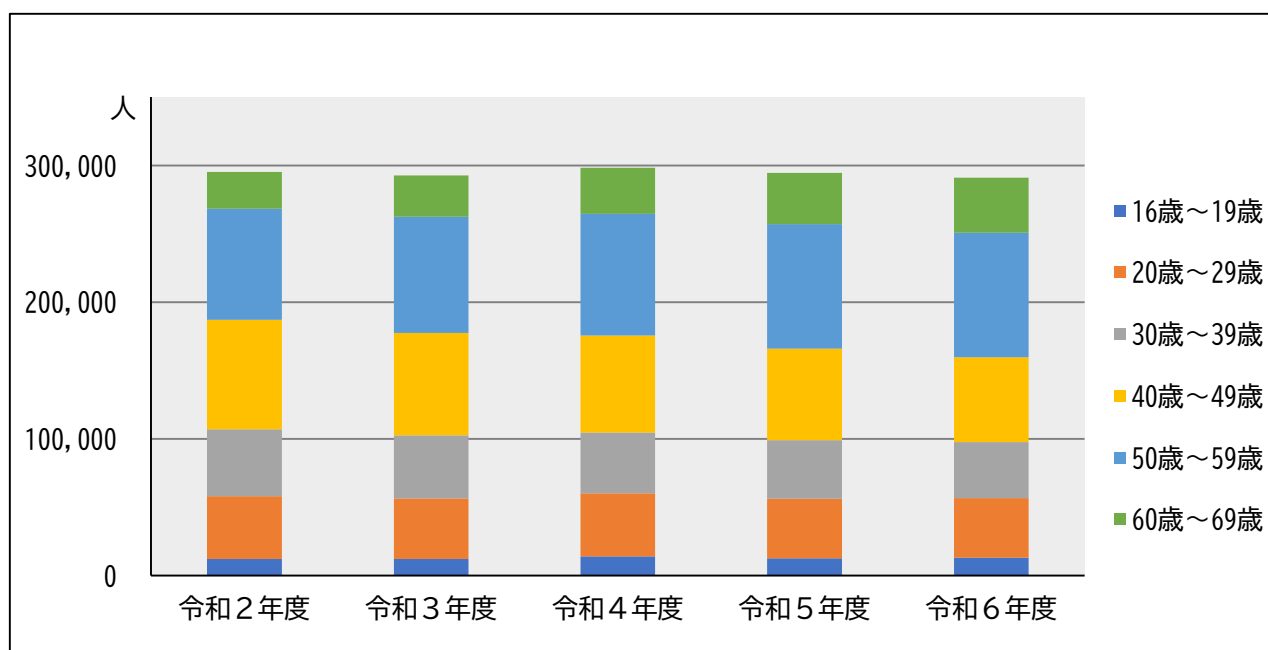


年齢別献血者数の推移

	16歳～19歳				20歳～29歳				30歳～39歳			
	男性	女性	計	年度比	男性	女性	計	年度比	男性	女性	計	年度比
令和2年度	6,595	5,708	12,303	4.2%	26,287	19,457	45,744	15.5%	34,885	14,083	48,968	16.6%
令和3年度	6,180	5,879	12,059	4.1%	25,254	19,264	44,518	15.2%	32,531	13,440	45,971	15.7%
令和4年度	7,051	6,934	13,985	4.7%	25,869	20,362	46,231	15.5%	31,153	13,147	44,300	14.9%
令和5年度	6,505	6,195	12,700	4.3%	24,807	18,680	43,487	14.8%	30,380	12,611	42,991	14.6%
令和6年度	6,752	6,377	13,129	4.5%	25,070	18,463	43,533	15.0%	28,877	12,079	40,956	14.1%
	40歳～49歳				50歳～59歳				60歳～69歳			
	男性	女性	計	年度比	男性	女性	計	年度比	男性	女性	計	年度比
令和2年度	59,802	20,265	80,067	27.1%	61,305	19,799	81,104	27.5%	21,527	5,538	27,065	9.2%
令和3年度	55,200	19,634	74,834	25.6%	63,637	21,327	84,964	29.0%	23,891	6,495	30,386	10.4%
令和4年度	52,075	18,902	70,977	23.8%	66,640	22,453	89,093	29.9%	26,215	7,489	33,704	11.3%
令和5年度	49,415	17,447	66,862	22.7%	68,330	22,679	91,009	30.9%	29,424	8,009	37,433	12.7%
令和6年度	46,046	15,943	61,989	21.3%	68,189	23,068	91,257	31.4%	31,159	8,952	40,111	13.8%

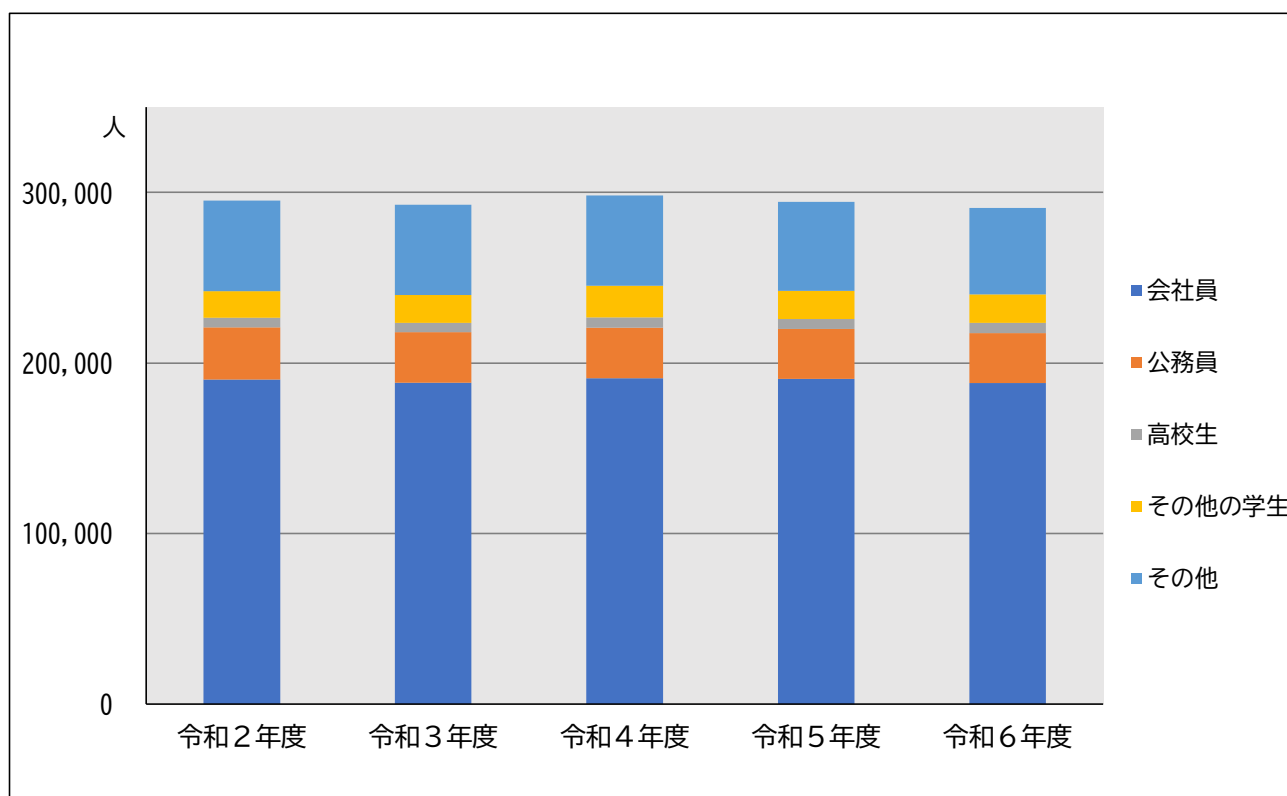
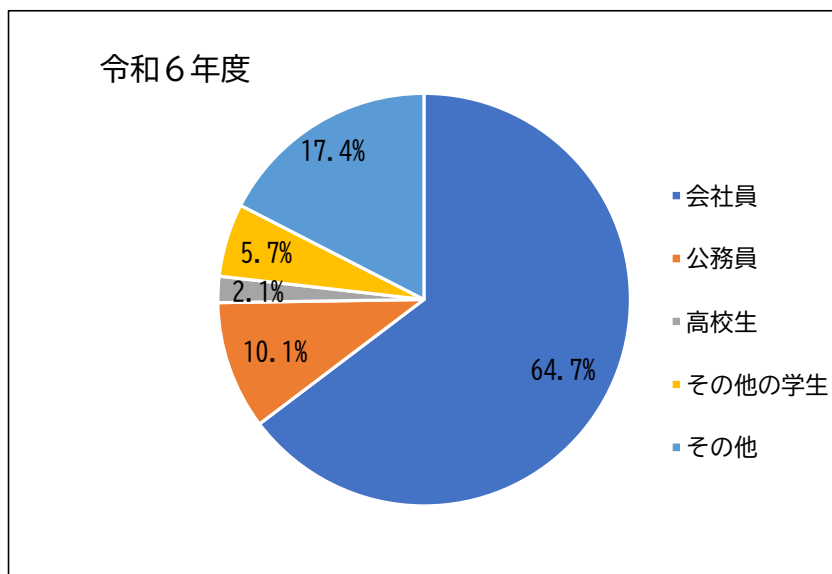


	計		
	男性	女性	計
令和2年度	210,401	84,850	295,251
令和3年度	206,693	86,039	292,732
令和4年度	209,003	89,287	298,290
令和5年度	208,861	85,621	294,482
令和6年度	206,093	84,882	290,975



職業別献血者数の推移

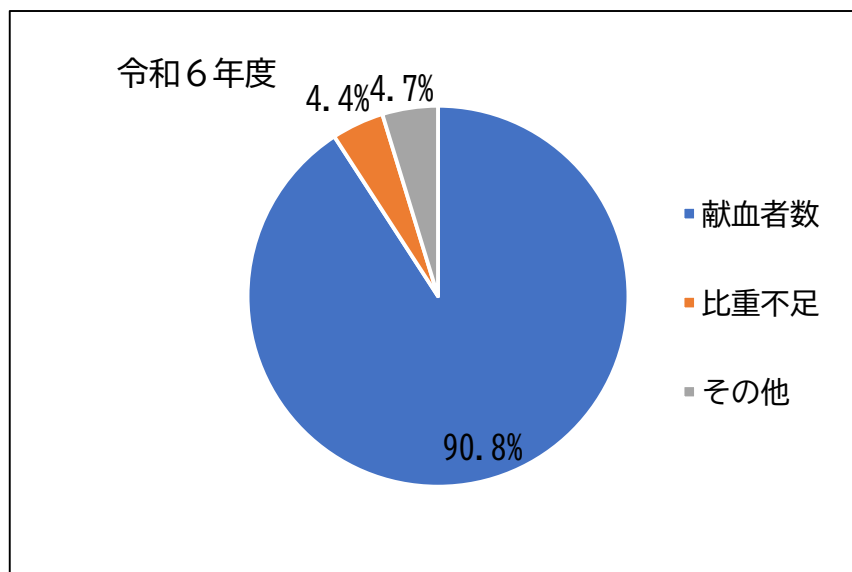
	会社員			公務員			学生						その他			計		
							高校生			その他の学生								
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
令和2年度	152,371	37,972	190,343	24,701	5,830	30,531	2,934	2,714	5,648	7,986	7,471	15,457	22,409	30,863	53,272	210,401	84,850	295,251
令和3年度	150,573	37,838	188,411	23,921	5,837	29,758	2,537	2,837	5,374	8,292	8,059	16,351	21,370	31,468	52,838	206,693	86,039	292,732
令和4年度	151,996	39,135	191,131	23,640	5,909	29,549	2,877	3,116	5,993	9,359	9,278	18,637	21,131	31,849	52,980	209,003	89,287	298,290
令和5年度	152,579	38,140	190,719	23,274	5,949	29,223	2,720	3,069	5,789	8,702	7,870	16,572	21,586	30,593	52,179	208,861	85,621	294,482
令和6年度	149,913	38,360	188,273	23,053	6,195	29,248	2,740	3,235	5,975	9,092	7,631	16,723	21,295	29,461	50,756	206,093	84,882	290,975



採血不適格者（※）の状況

※採血基準・問診により採血できないとされた人

	献血申込者数	献血者数	献血できなかった人数			
			比重不足	その他	計	比率
令和2年度	328,570	295,251	15,118	18,201	33,319	10.1%
令和3年度	325,414	292,732	15,421	17,261	32,682	10.0%
令和4年度	330,223	298,290	14,474	17,459	31,933	9.7%
令和5年度	325,347	294,482	14,299	16,566	30,865	9.5%
令和6年度	320,325	290,975	14,216	15,134	29,350	9.2%



骨髄バンクドナー登録状況

	新規登録者数	登録者数累計（※1）	有効登録者数（※2）
令和2年度	1,387	37,083	21,739
令和3年度	1,031	38,871	21,629
令和4年度	805	39,676	21,220
令和5年度	1,339	41,018	21,229
令和6年度	1,336	42,356	21,440

注)愛知県外からの転入者数は含まない。

※1 これまでに登録された全ドナー登録者数。

※2 ※1 から年齢要件や健康状態等により登録を取り消された方及び県外転出された方の数を引いた登録者総数。

検査不合格の状況

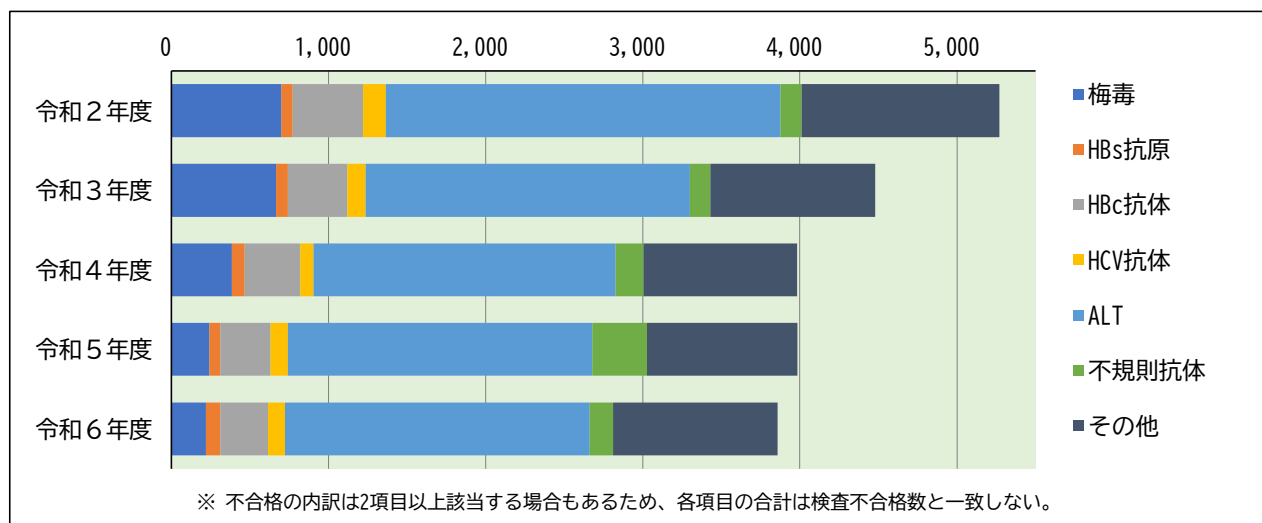
	献血者 数	検査不合格		不 合 格 の 内 訳												
		不合格数	不合格率	梅毒	比率	HBs抗原	比率	HBc抗体	比率	HCV抗体	比率	ALT	比率	不規則抗体	比率	その他
令和2年度	295,251	5,151	1.7%	702	0.2%	70	0.0%	449	0.2%	144	0.0%	2,511	0.9%	134	0.0%	1,259
令和3年度	292,732	4,396	1.5%	666	0.2%	76	0.0%	379	0.1%	117	0.0%	2,062	0.7%	131	0.0%	1,048
令和4年度	298,290	3,901	1.3%	386	0.1%	81	0.0%	355	0.1%	83	0.0%	1,923	0.6%	177	0.1%	976
令和5年度	294,482	3,908	1.3%	242	0.1%	70	0.0%	320	0.1%	110	0.0%	1,936	0.7%	349	0.1%	958
令和6年度	290,975	3,783	1.3%	221	0.1%	91	0.0%	304	0.1%	107	0.0%	1,938	0.7%	150	0.1%	1,046

※不合格率（％）＝検査不合格数/献血者数×100。

※不合格内訳は各項目で一部重複計上。

※「その他」には検査不能、判定不能、NAT検査陽性等が含まれ、製造段階での量過不足、溶血、外観落等の数は含まない。

※「比率」は各項目不合格数/献血者数×100。



検 査 項 目	
血液型関連検査	A B O血液型検査 R h血液型検査 不規則抗体検査 H L A検査（血小板成分献血登録者）
感染症関連検査	梅毒血清学的検査 H B s 抗原検査 H B s 抗体検査 H B c 抗体検査 H I V - 1 / 2 抗体検査 H T L V - 1 抗体検査 H C V 抗体検査 ヒトパルボウイルス B 1 9 抗原検査 (CLIA法: 化学発光免疫測定法)
生化学検査	A L T ・ γ - G T P ・ 総タンパク (T P) ・ アルブミン (A L B) ・ アルブミン対グロブリン比 (A / G) ・ コレステロール (C H O L) ・ グリコアルブミン (G A)
血球計数検査	赤血球数 (R B C) ・ ヘモグロビン量 (H b) ・ ヘマトクリット値 (H t) ・ 平均赤血球容積 (M C V) ・ 平均赤血球ヘモグロビン量 (M C H) ・ 平均赤血球ヘモグロビン濃度 (M C H C) ・ 白血球数 (W B C) ・ 血小板数 (P L T)
N A T （核酸増幅検査）	B 型肝炎ウイルス検査 C 型肝炎ウイルス検査 E 型肝炎ウイルス検査 H I V （ヒト免疫不全ウイルス）検査

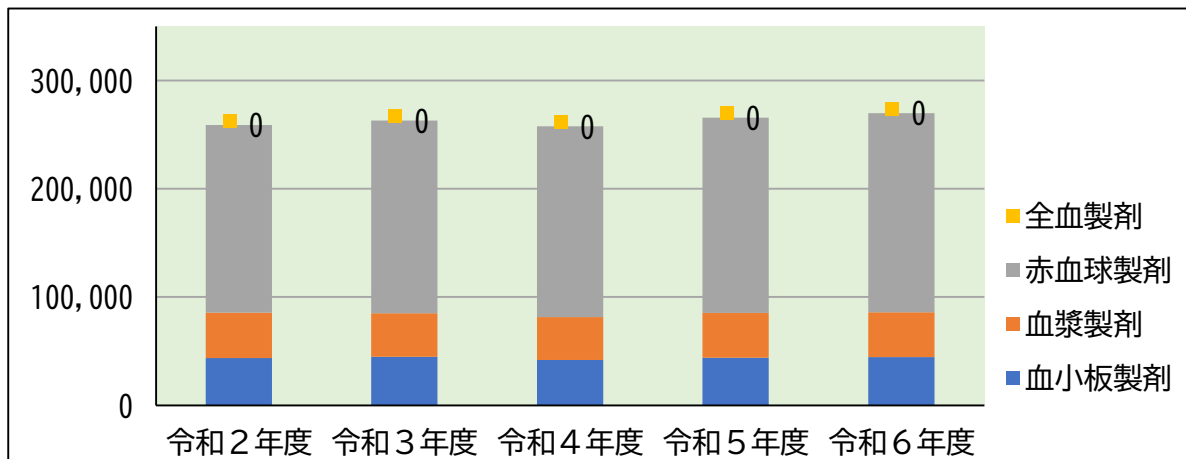
血液製剤供給の推移

※ 愛知県内医療機関への供給数を記載しています。

(1) 実本数

(単位：本)

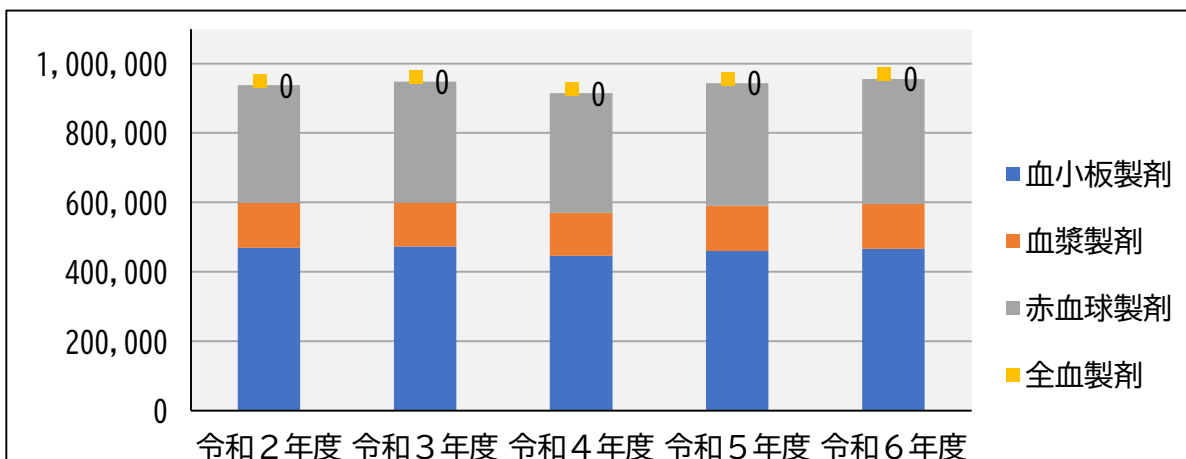
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全血製剤		0	0	0	0	0
成分製剤	赤血球製剤	173,345	178,032	176,206	180,461	184,050
	血漿製剤	42,090	40,296	39,578	41,650	41,461
	血小板製剤	43,524	44,597	41,800	43,680	44,271
	小計	258,959	262,925	257,584	265,791	269,782
合計		258,959	262,925	257,584	265,791	269,782



(2) 単位換算 (200mL献血を1単位として換算)

(単位：本)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全血製剤		0	0	0	0	0
成分製剤	赤血球製剤	338,998	348,866	344,684	353,535	359,899
	血漿製剤	129,856	126,582	123,849	130,239	129,789
	血小板製剤	468,682	473,027	446,015	459,695	466,097
	小計	937,536	948,475	914,548	943,469	955,785
合計		937,536	948,475	914,548	943,469	955,785



令和6年度血液事業概要

(1) 若年層に対する啓発資材の配布

① 若年層用普及啓発リーフレットの作成

若年層への献血思想の普及を図るため、リーフレット「はじめての献血」を 84,000 部作成し、二十歳の集い会場等で配布した。また、県内の高校1年生に配布・周知した。

② 「10代夏の献血キャンペーン」リーフレット等の配付

夏休みの間に高校生が献血ルーム等に足を運び、献血に触れ合う機会を増やすため、10代夏の献血キャンペーン（7月から9月まで）を周知するリーフレット 155,000 部及びポスター1,200 部（愛知県赤十字血液センター作製）を、県内高等学校等及び高校2、3年生に配布・周知した。

③ 「卒業献血キャンペーン」リーフレット等の配布

卒業を控えた高校生が献血ルーム等に足を運び、献血に触れ合う機会を増やすため、卒業献血キャンペーン（12月～3月）のリーフレット 106,000 部及びポスター1,400 部（愛知県赤十字血液センター作製）を、県内高等学校等及び高校3年生に配布・周知した。

(2) 「はたちの献血」キャンペーンの実施

新20歳を迎える「はたち」の若者を中心に献血思想の普及を図り、冬季における献血者の確保並びに安全な血液を確保するため、令和7年1月1日から2月28日まで、関係機関と連携し、「はたちの献血」キャンペーンを実施するとともに、各市町村主催の二十歳の集い等において、献血の啓発を行った。また、厚生労働省作成のポスターの掲示を保健所、市町村等に依頼した。

(3) 夏休み親子血液教室の実施

児童期からの献血教育を推進するため、小学生の親子を対象とした親子血液教室を開催した。

実 施 日：令和6年8月5日（月）、6日（火）、8日（木）、9日（金）

実 施 場 所：愛知県赤十字血液センター（5日、6日）

愛知県赤十字血液センター豊橋事業所（8日、9日）

実 施 内 容：血液おもしろゼミナール、血液クイズ、血液型検査、施設見学等

参 加 者：131組 328名（子ども148名、保護者131名、同伴者49人）

(4) 複数回献血キャンペーンの実施

年2回以上の400mL献血を推進するため、7月から11月にかけて「けんけつちゃんお約束カード」75,000枚を400mL献血協力者全員に配布し、12月から3月までにカードを持参の上、再度400mL献血に協力していただいた方に、「オリジナルグッズ」13,300個を配布して、複数回献血者の拡大を図った。また、啓発ポスター4,000枚を、保健所、市町村、県内薬局、健康保険組合、ショッピングセンター等へ配布し、啓発を行った。

(5)「愛の血液助け合い運動」の実施

全ての血液製剤を献血により安定的に確保できるように、献血に対する理解と協力を求めるため、令和6年7月1日から31日まで、保健所、市町村等に厚生労働省作成のポスターの掲示を依頼したほか、関係機関・団体の協力のもと次の事業を行った。

① 愛知県献血運動推進大会の開催

令和6年7月29日(月)に鯉城ホールで献血協力者及び献血協力・推進団体に対して知事感謝状等の贈呈した。

感謝状贈呈：個人73名、17団体

② 地域における啓発活動及び街頭活動の実施

名古屋市、中核市を始め各市町村と県保健所、関係団体等が連携し献血会場等で啓発活動を実施し、運動の強化を図った。

③ 献血活動市町村支援

県と市町村が協力して行う啓発活動のために、献血推進キャラクター「けんけつちゃん」を活用したウェットティッシュを8,000個作成し、各市町村の窓口や献血会場における県民各層への献血思想の啓発普及に活用した。

(6) 愛知県献血推進協議会の開催

献血思想の普及と献血者の組織化を図り、安全で良質な血液を安定的に確保するため、愛知県献血推進協議会を令和7年2月7日(金)に開催し、関係団体の代表者と協議した。

(7) 献血推進ボランティア団体の育成

各市町村の献血推進協議会構成員・献血グループ等の中から献血推進リーダーを選定し、地域の献血推進活動に積極的に参加する献血グループの組織化を図ることを目的に開催する献血担当者研修会と合同研修会を開催した。

(8) 血液事業担当者会議等の開催

献血推進方策の検討を行うため、県、名古屋市、中核市、日本赤十字社愛知県支部、愛知県赤十字血液センターによる会議を開催した。

実 施 日：令和6年4月19日(金)

場 所：愛知県三の丸庁舎8階801会議室

実 施 日：令和6年6月27日(木)

場 所：愛知県自治センター12階E会議室

(9) 愛知県合同輸血療法委員会の開催

県内における血液製剤の安全かつ適正な使用を推進するため、県内の主要医療機関の輸血療法委員会関係者による委員会を令和7年1月29日(水)に開催した。

(10) 官庁街献血の実施

夏休みや年末年始などにより1年の中で特に献血者が減少する以下の時期に官庁街において献血を実施し、血液不足の解消を図った。

① 夏季：令和6年7月31日（水）、8月1日（木）、2日（金）の3日間

② 冬季：令和7年1月8日（水）、9日（木）、10日（金）の3日間

	受付者数 (人)	献血者数 (人)	献 血 者 の 内 訳 (人)			
			200mL 献血	400mL 献血	成分献血	
					血 漿	血 小 板
夏季	450	405	1	378	20	6
冬季	377	352	0	328	11	13
計	827	757	1	706	31	19

(11) 広報の実施

<テレビ・ラジオ等>

番組名	放送局名	放送日時	内容
まるまる◎あいち	名古屋テレビ	令和6年6月15日、 17日	愛の血液助け合い運動月間／400mL 複数回献血キャンペーン／親子血液教室
村上佳菜子の週刊 愛ちっち	東海テレビ	令和7年1月23日、 26日	「はたちの献血」キャンペーン

<SNS>

SNS名	投稿日	内容
県公式LINE	令和6年6月28日	愛の血液助け合い運動月間
県公式LINE	令和6年7月29日（夏季） 令和6年12月16日（冬季）	官庁街献血及び官庁街骨髓バンクドナー登録会について
県公式X（旧Twitter）	令和6年7月22日（夏季） 令和6年12月16日（冬季）	

<広報番組、広報誌等>

掲載紙名	掲載日	内容
中日新聞、朝日新聞 読売新聞、毎日新聞	令和7年1月5日	広報あいち：（オビ）1月、2月は「はたちの献血」キャンペーンを実施しています。 ～誰かの明日を考える。はたちの献血～

<県政記者クラブ発表>

発表年月日	内容
令和6年6月7日	7月は「愛の血液助け合い運動」月間です
令和6年7月1日	官庁街献血及び官庁街骨髓バンクドナー登録に御協力をお願いします
令和6年12月2日	官庁街献血・官庁街骨髓バンクドナー登録に御協力をお願いします

骨髄バンク事業

骨髄移植や末梢血幹細胞移植などの造血幹細胞移植は、白血病や再生不良性貧血等の治療法として行われていますが、移植した造血幹細胞がうまく機能するためには、患者さんと骨髄や末梢血幹細胞を提供くださる方（ドナー）の白血球の型（HLA型）を一致させる必要があります。

このHLA型が一致する確率は兄弟姉妹で4人に1人、それ以外では数百人から数万人に1人とまれなため、骨髄移植や末梢血幹細胞移植を受けられない患者さんが大勢いらっしゃるのが現状です。そこで、広く一般の方々に善意の骨髄提供を呼びかける「骨髄バンク事業」が、国の主導のもとに公益財団法人日本骨髄バンクが主体となり、日本赤十字社の協力を得て、平成4年から開始されました。

そして、平成22年10月からは骨髄バンクを介した末梢血幹細胞の提供も開始されました。

日本では、骨髄移植や末梢血幹細胞移植を必要とする患者さんは、年間2千人近くいらっしゃいます。令和7年3月時点でドナー登録者は56万人を越えていますが、依然としてHLA型の適合するドナー候補者が見つからない患者さんがいらっしゃいます。



■ 令和7年3月末の骨髄・末梢血幹細胞提供希望者登録状況

全国 562,452人 愛知県 21,440人

■ 骨髄バンクドナー登録できる方

- 骨髄・末梢血幹細胞の提供の内容を十分に理解している方
- 年齢が18歳以上、54歳以下で健康状態が良好な方
- 体重が男性45kg以上、女性40kg以上の方

<骨髄バンク登録するには>

登録者の個人情報、プライバシーは厳重に守られるシステムになっています。

①登録検査の予約について

まず、公益財団法人日本骨髄バンクに登録のしおり「チャンス」を請求してください。

次に下記の登録受付場所から、ご希望のところを選んで事前に電話予約してください。（受付日時は場所によって異なります）

※職場やお宅の近所にやってくる献血バスの献血会場で、休日等に年間合計45回程度登録会を開催します。

※日本骨髄バンクの開催する説明会で説明を聞かれた方は、説明員の署名等が記載された登録申込書を持参すれば全国どこの献血会場でも登録ができます。

②登録のための血液検査について

- 登録に要する時間は約 30 分です。説明後、登録意思の確認等をさせていただきます。
- 次に白血球の型（HLA型）や血液型の検査を行うために採血をします（2 mL）。検査に費用はかかりません。
- 判定されたHLA型のデータは日本赤十字社に登録され、骨髄・末梢血幹細胞移植を必要とする患者さんのHLA型と適合しているか調べます。

③説明と同意について

患者さんのHLA型と適合すると、日本骨髄バンクからドナー候補者の1人として選ばれたことの連絡があり、その後、コーディネーターとの面談、説明、検査、そしてドナー候補者と御家族の最終同意へと進みます。

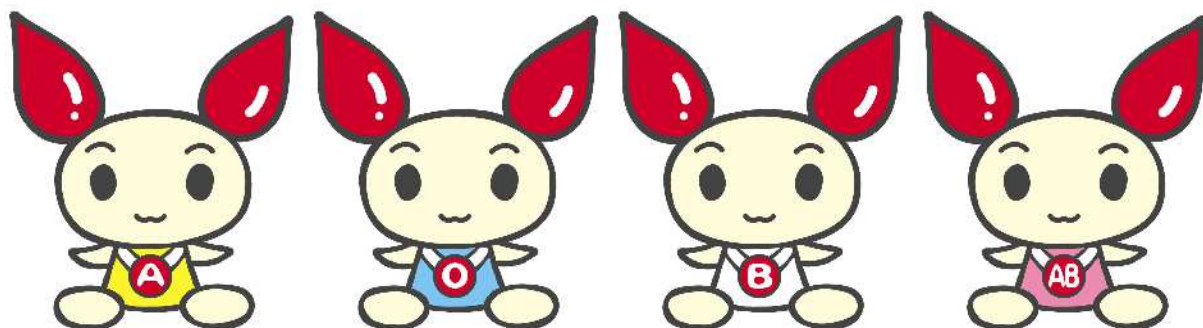
【登録受付場所】

ドナー登録は原則予約制です。（平日（月～金）の 9:00～17:00）

春日井保健所 〒486-0927 春日井市柏井町 2-31 (0568)31-2189	清須保健所 〒452-0961 清須市春日振形 129 (052)401-2100	半田保健所 〒475-0903 半田市出口町 1-45-4 (0569)21-3342
衣浦東部保健所 〒448-0857 刈谷市大手町 1-12 (0566)21-4797	豊川保健所 〒442-0068 豊川市諏訪 3-237 (0533)86-3177	

愛知県内の全ての
献血ルーム・献血会場でも
登録できます!!





献血キャラクター

けんけつちゃん

けんけつ
ご協力よろしく
お願いします



問合せ先
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
TEL 052-954-6305 (ダイヤルイン)
愛知県保健医療局生活衛生部医薬安全課
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/iyaku/>
令和7年6月作成